

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第20期（決算日2024年4月10日）

作成対象期間（2023年4月11日～2024年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2029年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数	株組入比率	株先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	中期騰落率				
	円	円	%		%	%	百万円
16期(2020年4月10日)	19,390	550	△ 2.9	230.37	△ 6.6	96.0	3,137
17期(2021年4月12日)	25,985	1,200	40.2	337.26	46.4	97.4	3,251
18期(2022年4月11日)	26,189	1,200	5.4	362.12	7.4	98.6	3,409
19期(2023年4月10日)	22,680	900	△10.0	337.36	△ 6.8	99.1	2,628
20期(2024年4月10日)	24,937	1,000	14.4	404.12	19.8	98.5	2,241

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	株組入比率	株先物比率
	騰落率	騰落率			
(期首)	円	%		%	%
2023年4月10日	22,680	—	337.36	—	99.1
4月末	22,785	0.5	340.35	0.9	96.9
5月末	22,443	△ 1.0	343.05	1.7	99.2
6月末	23,268	2.6	355.00	5.2	99.9
7月末	23,774	4.8	367.19	8.8	99.3
8月末	23,167	2.1	360.31	6.8	98.5
9月末	21,812	△ 3.8	345.70	2.5	99.0
10月末	20,729	△ 8.6	333.00	△ 1.3	97.7
11月末	22,685	0.0	359.89	6.7	95.8
12月末	24,344	7.3	375.60	11.3	97.6
2024年1月末	24,250	6.9	384.63	14.0	98.6
2月末	25,451	12.2	394.51	16.9	98.2
3月末	26,291	15.9	408.13	21.0	98.4
(期末)					
2024年4月10日	25,937	14.4	404.12	19.8	98.5

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金分配	み騰落率	期騰落率	期騰落率			
16期(2020年4月10日)	円 21,293	円 650	% △ 5.1	293.90	% △ 7.8	% 95.3	% —	百万円 7,190
17期(2021年4月12日)	29,769	1,200	45.4	447.03	52.1	98.1	—	9,211
18期(2022年4月11日)	33,493	1,500	17.5	535.27	19.7	97.8	—	11,100
19期(2023年4月10日)	31,441	1,300	△ 2.2	539.12	0.7	98.3	—	10,089
20期(2024年4月10日)	41,452	1,800	37.6	770.41	42.9	98.3	—	12,111

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
(期首) 2023年4月10日	円 31,441	% —	539.12	% —	% 98.3	% —
4月末	32,060	2.0	551.89	2.4	96.9	—
5月末	32,832	4.4	577.86	7.2	98.2	—
6月末	35,509	12.9	623.40	15.6	97.7	—
7月末	35,648	13.4	632.93	17.4	98.2	—
8月末	36,035	14.6	643.38	19.3	98.4	—
9月末	34,557	9.9	629.14	16.7	99.1	—
10月末	32,958	4.8	608.14	12.8	97.8	—
11月末	35,988	14.5	655.36	21.6	97.8	—
12月末	37,643	19.7	666.32	23.6	98.0	—
2024年1月末	39,022	24.1	708.02	31.3	98.1	—
2月末	41,911	33.3	742.59	37.7	98.0	—
3月末	43,616	38.7	773.82	43.5	98.4	—
(期末) 2024年4月10日	43,252	37.6	770.41	42.9	98.3	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

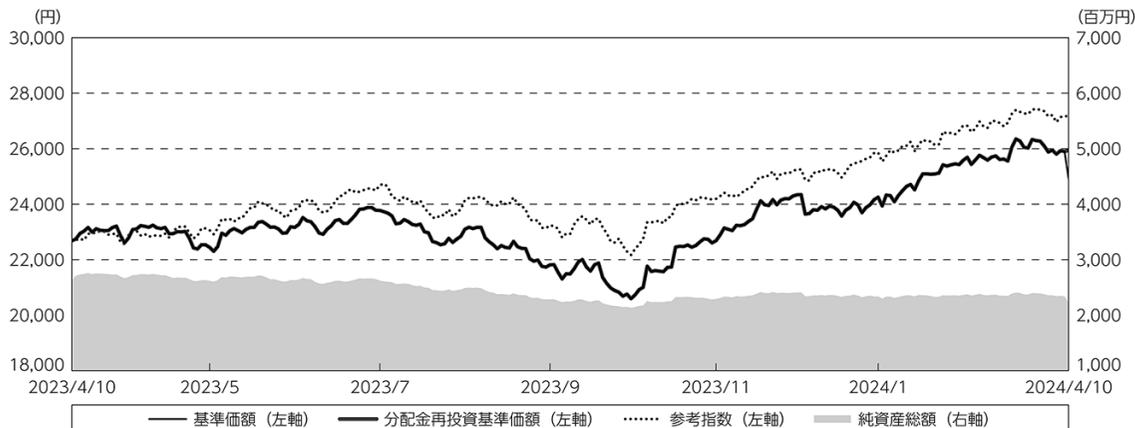
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：22,680円

期 末：24,937円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率： 14.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2023年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首22,680円から期末24,937円となりました。

(上昇)

- ・ 2023年11月、2023年7～9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、2023年10月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことなど。

(下落)

- ・ 2023年9月、FOMC(米連邦公開市場委員会)において政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなど。

<Aコース>

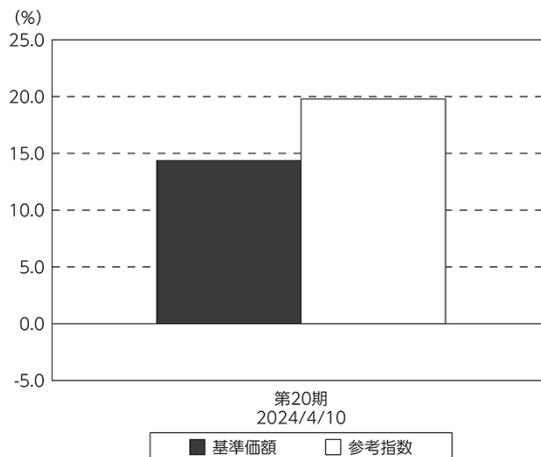
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の19.8%の上昇に対し、基準価額は14.4%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり1,000円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第20期
	2023年4月11日～ 2024年4月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,000 3.855%
当期の収益	902
当期の収益以外	97
翌期繰越分配対象額	14,937

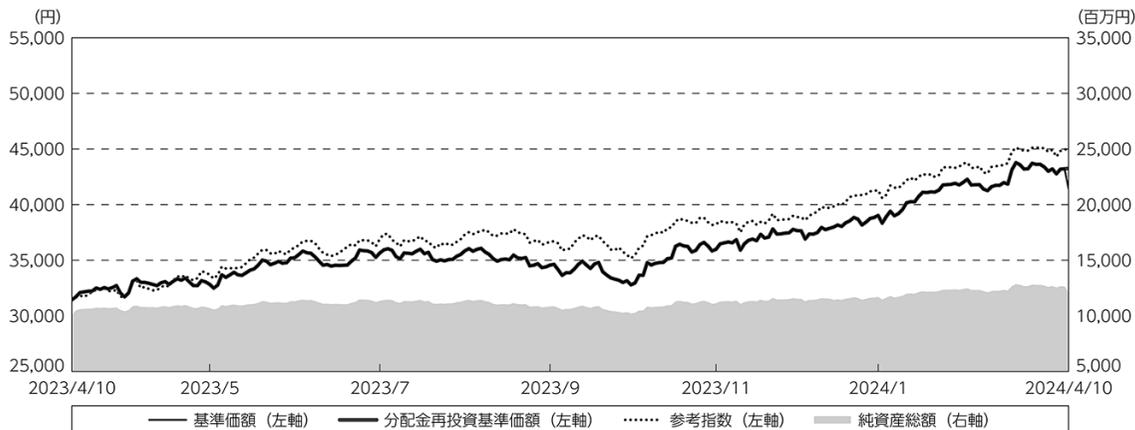
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：31,441円

期末：41,452円 (既払分配金(税込み)：1,800円)

騰落率： 37.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2023年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首31,441円から期末41,452円となりました。

(上昇)

- ・2023年11月、2023年7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、2023年10月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことなど。

(下落)

- ・2023年9月、FOMC(米連邦公開市場委員会)において政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなど。

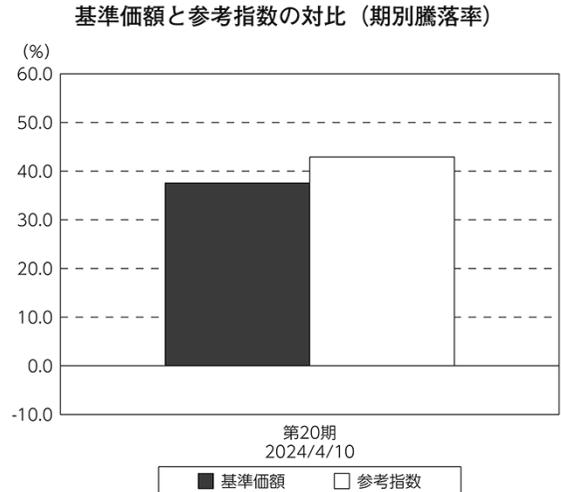
<Bコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の42.9%の上昇に対し、基準価額は37.6%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,800円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第20期
	2023年4月11日～ 2024年4月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,800 4.162%
当期の収益	1,800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	31,451

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレなどの影響を受ける展開となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース] および [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、中期的な売上成長や利益率の改善が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、金利環境の改善で株価の上昇余地があると考えられる銘柄などに投資を行ないました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、利益率の改善とキャッシュ・フローの拡大が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ⑤主な売買では、米国のフロー制御機器メーカーの株式などを新規に組み入れ、米国の専門器具メーカーの株式などを全売却しました。また、カナダのエンジニアリングサービス会社の株式などを買い増しし、デンマークのバイオソリューション会社の株式などを一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

欧米主要国のインフレ率は引き続き中央銀行の目標を上回っており、また足元は中東やロシア・ウクライナ地域などにおける地政学的リスクは高まっている一方、米国を筆頭にマクロ経済見通しは徐々に改善しつつあります。米国では新規受注に若干の明るい兆しがみられていることに加え、インフレも徐々に落ち着く方向に向かっており、2024年内にも米政策金利の引き下げが開始される可能性があります。水関連では、米国の財政政策の成果が関連企業の受注に反映され始めており、米国を拠点とする多くの地方自治体インフラ、多角化産業、コンサルティング関連企業の業績を下支えすると予想されます。また、廃棄物処理や上下水道サービスの企業については、これまでの値上げの効果と投入コストの軟化に伴う利益率改善の恩恵を受けると予想しています。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

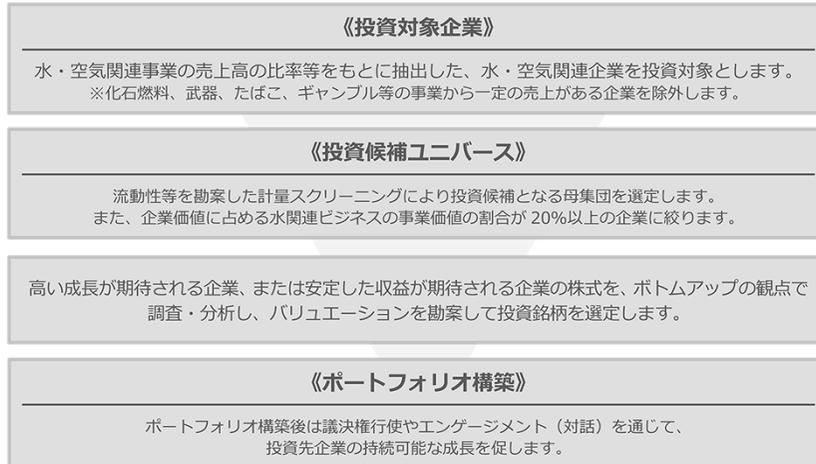
<Aコース/Bコース>

◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

○運用プロセス図

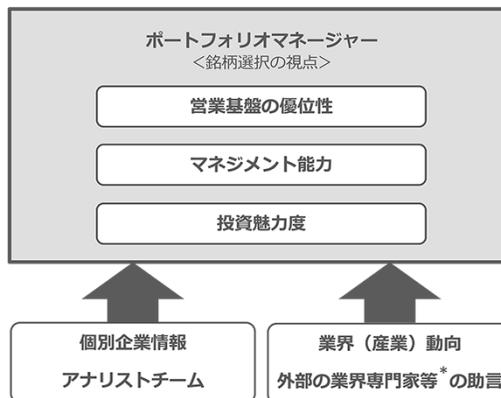
当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。

■投資プロセス■



*企業の調査・分析・ポートフォリオ構築にあたっては、ESGの視点でも投資銘柄の評価・分析を行ないます。

■ボトムアップによる銘柄選択■



※水・空気関連ビジネスの大局的見地から助言を行なうものであり、個別の銘柄選択に対して助言を行なうものではありません。

※前記の投資プロセス、ボトムアップによる銘柄選択は、今後見直しを行なう場合があります。

<Aコース/Bコース>

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

☆ザイレム（米国）

①事業内容

ザイレム（Xylem, Inc.）は上下水道関連会社です。集水、給水、利用から自然に戻るまでの循環全体に適用される上下水道用の機器およびサービスを設計、製造、販売しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

水処理システム、水漏れ検知システム、自治体向け水道関連部品、水質監視システムなど、重要な水関連のエンジニアリング製品とアプリケーションを幅広く設計、製造しています。水資源は供給に制約のある中で、人口増加や経済成長によって需要は増加傾向にあります。そのため製品やサービスを通じて水ソリューションを提供する企業には、長期的に成長機会があると考えています。

☆サーモフィッシャーサイエンティフィック（米国）

①事業内容

サーモフィッシャーサイエンティフィック（Thermo Fisher Scientific, Inc.）は科学関連製品メーカーです。科学機器、消耗品、および化学品を製造しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

製薬会社の新薬開発、医療機関の臨床診断、環境・水質監視のための分析機器や研究のための機器を製造・販売しています。先進国の地表水のほとんどは微量汚染物質で汚染されており、新興国でも水質汚濁が拡大しています。こうした環境問題の解決のため、各国・地域で環境に関する規制が強化されていくなかで、水質の測定及び監視を可能にする同社のシステムは、地球環境維持のために重要な役割を果たすことが期待されており、今後の需要が見込まれます。

☆ヴェオリア・エンバイロメント（フランス）

①事業内容

ヴェオリア・エンバイロメント（Veolia Environnement）は環境関連サービス会社です。エコロジカル・トランスフォーメーション（環境変革）サービスに従事しており、水、廃棄物、およびエネルギー管理ソリューションを設計、提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

上下水道やその他の水関連サービスを提供するほか、省エネルギー・サービス、廃棄物処理、リサイクルサービスも提供しています。上下水道のインフラの老朽化が進み、水質に関する基準の高度化・複雑化が進展し、民間資本による投資と水ネットワーク管理の能力が必要とされています。地方自治体の財政問題から上下水道の民営化が進められており、水関連サービスを提供する企業には、豊富な事業機会があると考えています。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドにおけるサステナブル投資

①水・空気関連企業への投資比率

当ファンドでは清潔で安全かつ持続可能な水の供給や大気汚染の抑制に貢献すると考えられる水関連企業や空気関連企業に投資を行いません。2023年12月末時点のポートフォリオにおける同銘柄への投資比率は純資産総額の98.61%でした。

(出所) ピクテ

②ポートフォリオ全体に占めるテーマ事業割合

2023年12月末時点で、ポートフォリオ全体の企業価値に占める水・空気関連の事業価値割合は、71%でした。

(出所) ピクテ

③特定銘柄の除外

2023年12月末時点、ポートフォリオでは国際的な規範から大きく外れる銘柄や、兵器に関連する銘柄へは投資していません。

(出所) ピクテ

○ステewardシップ活動

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのステewardシップ方針/ステewardシップ活動」にある「ワールド・ウォーター・ファンド」の「ステewardシップの活動はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年4月11日～2024年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	438	1.870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(232)	(0.990)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(180)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(26)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.026)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	17	0.074	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(16)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	464	1.982	
期中の平均基準価額は、23,416円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

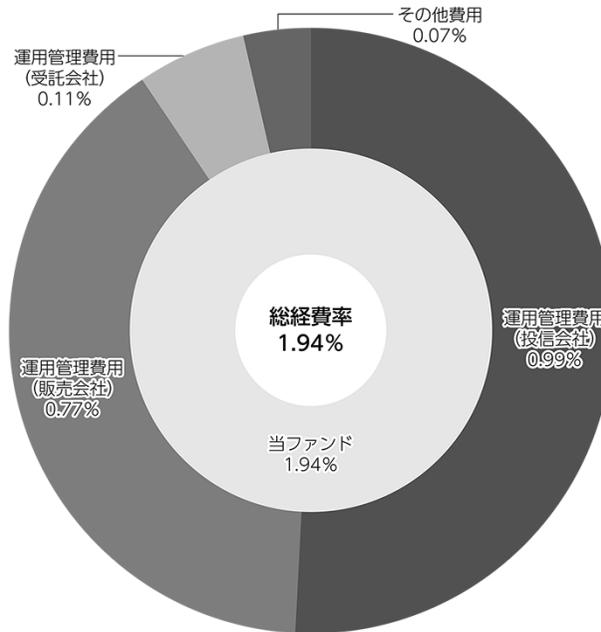
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2023年4月11日～2024年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 48,522	千円 458,100	千口 175,563	千円 1,692,800

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年4月11日～2024年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	11,087,704千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,513,917千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.82	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月11日～2024年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
株式	百万円 4,105	百万円 —	% —	百万円 6,982	百万円 5	% 0.1

平均保有割合 17.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Aコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	625千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1千円
(B) / (A)	0.3%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2024年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 321,696	千口 194,655	千円 2,231,589

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千円 2,231,589	% 93.0
コール・ローン等、その他	166,770	7.0
投資信託財産総額	2,398,359	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (14,138,039千円) の投資信託財産総額 (15,014,269千円) に対する比率は94.2%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=151.82円、1カナダドル=111.91円、1英ポンド=192.46円、1スイスフラン=168.05円、1スウェーデンクローナ=14.39円、1デンマーククローネ=22.10円、1ユーロ=164.85円、1香港ドル=19.38円、1ウォン=0.1124円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,534,648,600
コール・ローン等	44,614,298
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	2,231,589,140
未収入金	2,258,445,073
未収利息	89
(B) 負債	2,293,188,848
未払金	2,159,393,378
未払収益分配金	89,884,586
未払解約金	22,114,486
未払信託報酬	21,758,065
その他未払費用	38,333
(C) 純資産総額(A-B)	2,241,459,752
元本	898,845,867
次期繰越損益金	1,342,613,885
(D) 受益権総口数	898,845,867口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,937円

(注) 期首元本額は1,158,927,097円、期中追加設定元本額は62,516,778円、期中一部解約元本額は322,598,008円、1口当たり純資産額は2,4937円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額96,084,048円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2023年4月11日～2024年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 13,408
受取利息	1,250
支払利息	△ 14,658
(B) 有価証券売買損益	337,688,745
売買益	1,004,494,752
売買損	△ 666,806,007
(C) 信託報酬等	△ 46,476,164
(D) 当期損益金(A+B+C)	291,199,173
(E) 前期繰越損益金	58,990,871
(F) 追加信託差損益金	1,082,308,427
(配当等相当額)	(834,311,775)
(売買損益相当額)	(247,996,652)
(G) 計(D+E+F)	1,432,498,471
(H) 収益分配金	△ 89,884,586
次期繰越損益金(G+H)	1,342,613,885
追加信託差損益金	1,082,308,427
(配当等相当額)	(834,523,875)
(売買損益相当額)	(247,784,552)
分配準備積立金	260,305,458

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年4月11日～2024年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年4月11日～ 2024年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	28,784,590円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	52,326,030円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,082,308,427円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	269,079,424円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,432,498,471円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	15,937円
g. 分配金	89,884,586円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	1,000円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドの外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式（主として海外株式）の運用」から「株式（主として海外株式）および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2023年12月22日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年4月11日～2024年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	682	1.870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(361)	(0.990)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(281)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(40)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.025	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(9)	(0.025)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	5	0.013	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(5)	(0.013)	
(d) そ の 他 費 用	19	0.053	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(17)	(0.047)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	715	1.961	
期中の平均基準価額は、36,481円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

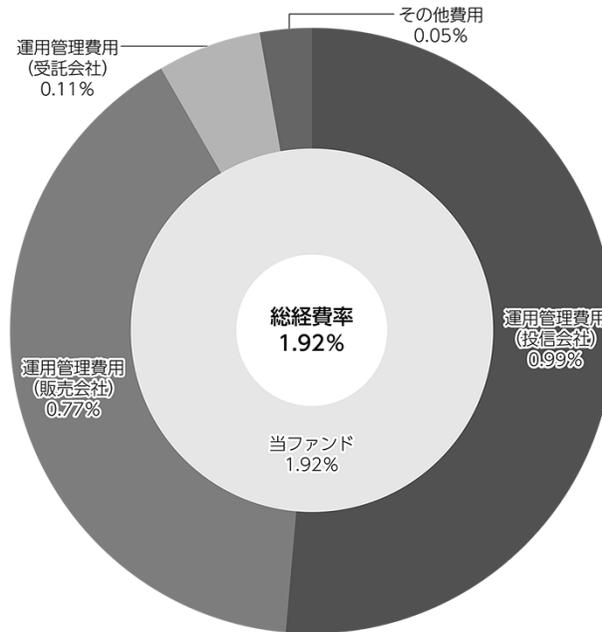
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2023年4月11日～2024年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 63,610	千円 554,200	千口 238,829	千円 2,371,800

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年4月11日～2024年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	11,087,704千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,513,917千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.82	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月11日～2024年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
株式	百万円 4,105	百万円 —	% —	百万円 6,982	百万円 5	% 0.1

平均保有割合 82.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,848千円
うち利害関係人への支払額 (B)	7千円
(B) / (A)	0.2%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2024年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 1,224,757	千口 1,049,538	千円 12,032,227

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千円 12,032,227	% 94.0
コール・ローン等、その他	761,853	6.0
投資信託財産総額	12,794,080	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (14,138,039千円) の投資信託財産総額 (15,014,269千円) に対する比率は94.2%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=151.82円、1カナダドル=111.91円、1英ポンド=192.46円、1スイスフラン=168.05円、1スウェーデンクローナ=14.39円、1デンマーククローネ=22.10円、1ユーロ=164.85円、1香港ドル=19.38円、1ウォン=0.1124円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,794,080,602
コール・ローン等	132,853,314
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	12,032,227,022
未収入金	629,000,000
未収利息	266
(B) 負債	682,622,927
未払収益分配金	525,929,969
未払解約金	48,105,728
未払信託報酬	108,396,005
その他未払費用	191,225
(C) 純資産総額(A-B)	12,111,457,675
元本	2,921,833,162
次期繰越損益金	9,189,624,513
(D) 受益権総口数	2,921,833,162口
1万口当たり基準価額(C/D)	41,452円

(注) 期首元本額は3,208,914,180円、期中追加設定元本額は213,317,449円、期中一部解約元本額は500,398,467円、1口当たり純資産額は4,1452円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額96,084,048円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2023年4月11日～2024年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 43,673
受取利息	5,202
支払利息	△ 48,875
(B) 有価証券売買損益	3,611,041,100
売買益	3,851,638,096
売買損	△ 240,596,996
(C) 信託報酬等	△ 211,765,983
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,399,231,444
(E) 前期繰越損益金	2,169,292,329
(F) 追加信託差損益金	4,147,030,709
(配当等相当額)	(2,652,397,907)
(売買損益相当額)	(1,494,632,802)
(G) 計(D+E+F)	9,715,554,482
(H) 収益分配金	△ 525,929,969
次期繰越損益金(G+H)	9,189,624,513
追加信託差損益金	4,147,030,709
(配当等相当額)	(2,653,323,904)
(売買損益相当額)	(1,493,706,805)
分配準備積立金	5,042,593,804

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年4月11日～2024年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年4月11日～ 2024年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	152,458,264円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	3,055,356,788円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,147,030,709円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,360,708,721円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	9,715,554,482円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	33,251円
g. 分配金	525,929,969円
h. 分配金(1万口当たり)	1,800円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	1,800円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドの外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式（主として海外株式）の運用」から「株式（主として海外株式）および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2023年12月22日>

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日2024年4月10日）

作成対象期間（2023年4月11日～2024年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI World Index Free (円換算ベース)	MSCI World Index Free (現地通貨ベース)			
16期(2020年4月10日)	46,015	△ 3.2	293.90	△ 7.8	96.7	—	10,200
17期(2021年4月12日)	68,345	48.5	447.03	52.1	98.5	—	12,383
18期(2022年4月11日)	81,967	19.9	535.27	19.7	98.4	—	14,451
19期(2023年4月10日)	81,630	△ 0.4	539.12	0.7	99.2	—	12,623
20期(2024年4月10日)	114,643	40.4	770.41	42.9	98.9	—	14,263

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

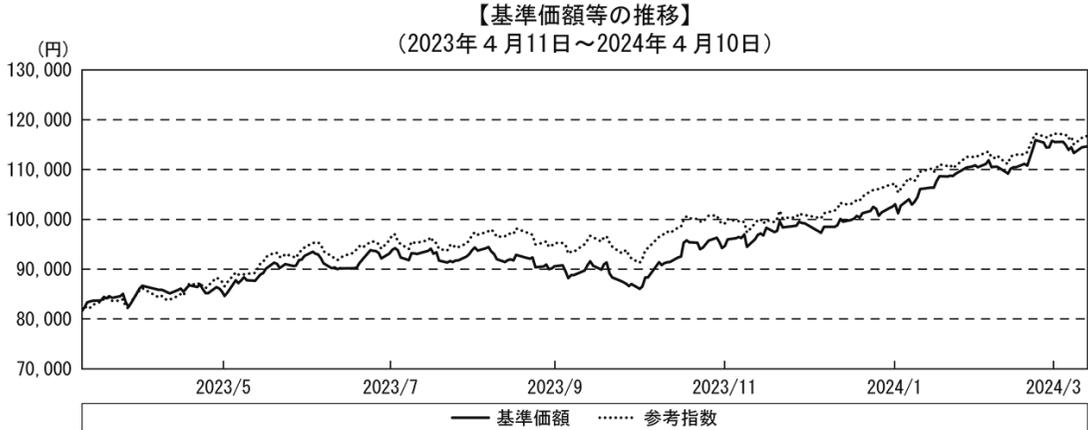
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI World Index Free (円換算ベース)	MSCI World Index Free (現地通貨ベース)		
(期首) 2023年4月10日	81,630	—	539.12	—	99.2	—
4月末	83,353	2.1	551.89	2.4	97.8	—
5月末	85,517	4.8	577.86	7.2	98.9	—
6月末	92,673	13.5	623.40	15.6	98.2	—
7月末	93,178	14.1	632.93	17.4	98.7	—
8月末	94,338	15.6	643.38	19.3	98.6	—
9月末	90,590	11.0	629.14	16.7	99.2	—
10月末	86,519	6.0	608.14	12.8	98.7	—
11月末	94,687	16.0	655.36	21.6	98.6	—
12月末	99,219	21.5	666.32	23.6	98.6	—
2024年1月末	103,037	26.2	708.02	31.3	98.6	—
2月末	110,853	35.8	742.59	37.7	98.3	—
3月末	115,536	41.5	773.82	43.5	98.6	—
(期末) 2024年4月10日	114,643	40.4	770.41	42.9	98.9	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首81,630円から期末114,643円となりました。

(上昇)

- ・ 2023年11月、2023年7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、2023年10月の米CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことなど。

(下落)

- ・ 2023年9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなど。

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレなどの影響を受ける展開となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行ないました。

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

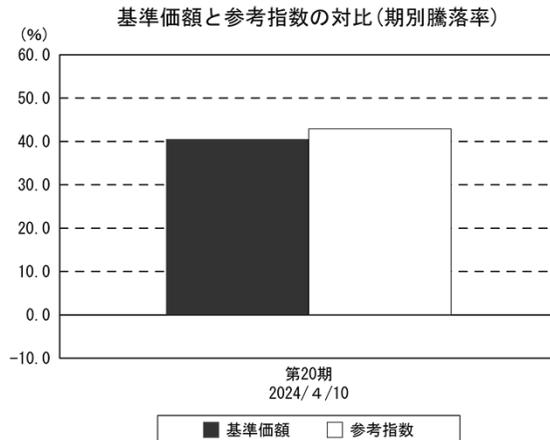
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、中期的な売上成長や利益率の改善が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、金利環境の改善で株価の上昇余地があると考えられる銘柄などに投資を行ないました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、利益率の改善とキャッシュ・フローの拡大が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ⑤主な売買では、米国のフロー制御機器メーカーの株式などを新規に組み入れ、米国の専門器具メーカーの株式などを全売却しました。また、カナダのエンジニアリングサービス会社の株式などを買い増しし、デンマークのバイオソリューション会社の株式などを一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の42.9%の上昇に対し、基準価額40.4%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしておりません。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

欧米主要国のインフレ率は引き続き中央銀行の目標を上回っており、また足元は中東やロシア・ウクライナ地域などにおける地政学的リスクは高まっている一方、米国を筆頭にマクロ経済見通しは徐々に改善しつつあります。米国では新規受注に若干の明るい兆しがみられていることに加え、インフレも徐々に落ち着く方向に向かっており、2024年内にも米政策金利の引き下げが開始される可能性があります。水関連では、米国の財政政策の成果が関連企業の受注に反映され始めており、米国を拠点とする多くの地方自治体インフラ、多角化産業、コンサルティング関連企業の業績を下支えすると予想されます。また、廃棄物処理や上下水道サービスの企業については、これまでの値上げの効果と投入コストの軟化に伴う利益率改善の恩恵を受けると予想しています。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 4 月11日～2024年 4 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 24 (24)	% 0.025 (0.025)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	12 (12)	0.013 (0.013)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	47 (45) (2)	0.049 (0.047) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	83	0.087	
期中の平均基準価額は、95,791円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月11日～2024年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 12	千円 74,273	千株 44	千円 95,711
	アメリカ	百株 3,010 (201)	千米ドル 22,733 (3,489)	百株 3,825	千米ドル 33,291
外 国	カナダ	94	千カナダドル 1,661	97	千カナダドル 1,213
	イギリス	625	千英ポンド 1,968	2,323 (269)	千英ポンド 3,815 (2,752)
	スイス	1	千スイスフラン 72	23	千スイスフラン 1,149
	スウェーデン	9	千スウェーデンクローナ 360	190	千スウェーデンクローナ 7,298
	デンマーク	1	千デンマーククローネ 68	210	千デンマーククローネ 6,909
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	38 (-)	289 (△ 38)	72	549
	イタリア	87	25	2,089	594
	フランス	215	633	587	1,682
	オランダ	2	9	55	209
香港	135	千香港ドル 153	13,198	千香港ドル 10,315	
韓国	0.85	千ウォン 4,199	47	千ウォン 245,677	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年4月11日～2024年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	11,087,704千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	13,513,917千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.82

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月11日～2024年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 4,105	百万円 —	% —	百万円 6,982	百万円 5	% 0.1

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,473千円
うち利害関係人への支払額 (B)	8千円
(B) / (A)	0.3%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2024年4月10日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数		株 数	評 価 額
機械 (100.0%)	千株		千株	千円
クボタ	44.6		—	—
栗田工業	—		12	75,156
合 計	株 数 ・ 金 額	44.6	12	75,156
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 0.5% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AECOM	236	172	1,658	251,751	建設・土木	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	134	158	2,680	406,940	建設関連製品	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	188	178	2,637	400,391	ライフサイエンス・ツール/サービス	
AMERICAN STATES WATER CO	101	63	448	68,101	水道	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	315	219	2,669	405,226	水道	
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	—	93	473	71,896	ソフトウェア	
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	142	—	—	—	水道	
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	2,000	1,737	2,943	446,940	水道	
CORE & MAIN INC-CLASS A	421	662	3,788	575,210	商社・流通業	
DANAHER CORP	175	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
DOVER CORP	—	67	1,188	180,453	機械	
ECOLAB INC	161	137	3,095	469,936	化学	
ESSENTIAL UTILITIES INC	507	417	1,532	232,607	水道	
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO	232	—	—	—	機械	
FORTUNE BRANDS INNOVATIONS INC	263	315	2,539	385,553	建設関連製品	
GFL ENVIRONMENTAL INC - SUB VT	502	704	2,481	376,729	商業サービス・用品	
IDEX CORP	123	116	2,809	426,549	機械	
INGERSOLL-RAND INC	—	228	2,139	324,799	機械	
LESLIE'S INC	298	—	—	—	専門小売り	
MASCO CORP	103	182	1,402	212,981	建設関連製品	
MIDDLESEX WATER CO	72	—	—	—	水道	
PARKER HANNIFIN CORP	18	33	1,875	284,733	機械	
POOL CORP	44	35	1,417	215,141	販売	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	326	228	4,320	655,880	商業サービス・用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	42	33	1,817	275,917	ソフトウェア	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	37	—	—	—	商社・流通業	
SMITH (A.O.) CORP	143	106	919	139,601	建設関連製品	
TETRA TECH INC	95	97	1,899	288,306	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	78	67	3,990	605,771	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TORO CO	138	105	926	140,710	機械	
TRIMBLE INC	182	—	—	—	電子装置・機器・部品	
VERALTO CORP	—	281	2,511	381,244	商業サービス・用品	
WASTE CONNECTIONS INC	292	228	3,846	583,978	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	255	163	3,378	512,975	商業サービス・用品	
XYLEM INC	271	368	4,747	720,700	機械	
ZURN ELKAY WATER SOLUTIONS CORP	153	—	—	—	建設関連製品	
FERGUSON PLC	—	197	4,384	665,703	商社・流通業	
PENTAIR PLC	342	388	3,254	494,064	機械	
小 計	株 数 ・ 金 額	8,403	7,790	73,776	11,200,802	
	銘柄 数 < 比 率 >	33	30	—	< 78.5% >	
(カナダ)			千カナダドル			
STANTEC INC	231	171	1,900	212,731	建設・土木	
WSP GLOBAL INC	60	117	2,501	279,887	建設・土木	
小 計	株 数 ・ 金 額	292	289	4,401	492,618	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 3.5% >	
(イギリス)			千英ポンド			
HALMA PLC	302	329	755	145,488	電子装置・機器・部品	
SEVERN TRENT PLC	926	529	1,262	242,950	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,973	1,021	1,033	198,923	水道	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	価額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
FERGUSON PLC	288	—	—	—	商社・流通業
PENNON GROUP PLC	1,152	721	456	87,859	水道
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC	—	71	694	133,594	機械
小計	株数・金額	4,642	2,673	4,202	808,816
	銘柄数<比率>	5	5	—	<5.7%>
(スイス)			千スイスフラン		
GEBERIT AG-REG	48	26	1,375	231,121	建設関連製品
小計	株数・金額	48	26	1,375	231,121
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.6%>
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ		
ALFA LAVAL AB	406	224	9,493	136,608	機械
小計	株数・金額	406	224	9,493	136,608
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>
(デンマーク)			千デンマーククローネ		
NOVONESIS (NOVOZYMES) B	305	97	3,688	81,522	化学
小計	株数・金額	305	97	3,688	81,522
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.6%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
BRENNTAG SE	249	215	1,628	268,472	商社・流通業
小計	株数・金額	249	215	1,628	268,472
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.9%>
(ユーロ…イタリア)					
HERA SPA	3,355	1,353	424	69,905	総合公益事業
小計	株数・金額	3,355	1,353	424	69,905
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.5%>
(ユーロ…フランス)					
VEOLIA ENVIRONNEMENT	1,404	1,032	2,993	493,494	総合公益事業
小計	株数・金額	1,404	1,032	2,993	493,494
	銘柄数<比率>	1	1	—	<3.5%>
(ユーロ…オランダ)					
AALBERTS NV	210	156	718	118,423	機械
小計	株数・金額	210	156	718	118,423
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.8%>
ユーロ計	株数・金額	5,219	2,757	5,764	950,295
	銘柄数<比率>	4	4	—	<6.7%>
(香港)			千香港ドル		
GUANGDONG INVESTMENT	6,928	—	—	—	水道
CHINA LESSO GROUP HOLDINGS LTD	4,060	—	—	—	建設関連製品
HAIER SMART HOME CO LTD-H	3,518	1,443	3,694	71,591	家庭用耐久財
小計	株数・金額	14,506	1,443	3,694	71,591
	銘柄数<比率>	3	1	—	<0.5%>
(韓国)			千ウォン		
COWAY CO LTD	151	103	578,184	64,987	家庭用耐久財
小計	株数・金額	151	103	578,184	64,987
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.5%>
合計	株数・金額	33,974	15,406	—	14,038,365
	銘柄数<比率>	51	46	—	<98.4%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	14,113,521	94.0
コール・ローン等、その他	900,748	6.0
投資信託財産総額	15,014,269	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(14,138,039千円)の投資信託財産総額(15,014,269千円)に対する比率は94.2%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=151.82円、1カナダドル=111.91円、1英ポンド=192.46円、1スイスフラン=168.05円、1スウェーデンクローナ=14.39円、1デンマーククローネ=22.10円、1ユーロ=164.85円、1香港ドル=19.38円、1ウォン=0.1124円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,055,741,021
コール・ローン等	890,250,678
株式(評価額)	14,113,521,184
未収入金	41,471,913
未収配当金	10,495,640
未収利息	1,606
(B) 負債	791,977,472
未払金	41,477,472
未払解約金	750,500,000
(C) 純資産総額(A-B)	14,263,763,549
元本	1,244,194,252
次期繰越損益金	13,019,569,297
(D) 受益権総口数	1,244,194,252口
1万口当たり基準価額(C/D)	114,643円

(注) 期首元本額は1,546,453,904円、期中追加設定元本額は112,133,319円、期中一部解約元本額は414,392,971円、1口当たり純資産額は11,4643円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 1,049,538,744円・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 194,655,508円

○損益の状況 (2023年4月11日～2024年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	220,628,387
受取配当金	215,844,983
受取利息	4,799,314
その他収益金	30,604
支払利息	△ 46,514
(B) 有価証券売買損益	4,478,482,973
売買益	5,093,651,762
売買損	△ 615,168,789
(C) 保管費用等	△ 6,814,193
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,692,297,167
(E) 前期繰越損益金	11,077,312,478
(F) 追加信託差損益金	900,166,681
(G) 解約差損益金	△ 3,650,207,029
(H) 計(D+E+F+G)	13,019,569,297
次期繰越損益金(H)	13,019,569,297

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

運用の外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式（主として海外株式）の運用」から「株式（主として海外株式）および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2023年12月22日＞